



## やってみなくちゃわからん！

校長 田邊 雅也

### 令和4年の漢字は「戦」

12月13日(月)、日本漢字能力検定協会は、令和4年の世相を1字で表す「今年の漢字」が「戦(せん)」に決まったと京都・清水寺で発表しました。主な理由として、戦争を意識した年であったことや、円安・物価高などの生活の中での戦いがあったことなどを応募者の多くが体感したことをあげています。冬の北京オリンピックで日本人選手が活躍し、また11月と12月は、サッカーワールドカップの日本代表が強豪のドイツやスペインを破るなど、熱戦が繰り広げられたこともあげています。皆様は、1年の生活を振り返り、どういう漢字をお選びになったでしょうか。

### 私の漢字は「試」 ～オーセンティック(本物)を試す～

令和3年、私は、六小の様子から、愛(i・アイ)の文字を選びました。六小は保護者・地域、教職員からの「愛」に包まれ、iPadにトライしながら学ぶ姿が見られたからです。

令和4年は「試」を選びました。iPadはすでに当たり前の文房具となり、子供たちの学びが、教科書だけに頼らず、少しでもオーセンティック(※)な学びとなるよう、子供たちも保護者も地域も教職員も試行錯誤をしてきた年となったと感じたからです。課題を解決するには、まずやってみて失敗してみないと、課題を見つけない、最適解を見出せたりできません。昔から「物は試し」と言いますが、何事も実際にやってみなければわからないことがたくさんあります。子供たちにとって、オーセンティックな学びとは何か、と試した令和4年だと感じています。

### 「やってみなくちゃわからん」の精神

生活科・総合的な学習の時間はもちろん、国語などの主要教科を含め、全ての教育活動の中で、一人一人の思いや願いに合わせた教育を目指す試行錯誤がありました。そうした授業改善こそ、学校の最も大切な仕事であるのはもちろんですが、学校運営協議会、学校応援団、おはなしの木、ぐらんぱの皆様のご支援も、子供たちの学びを助けています。また、PTAでは、スマートフォンで保護者の連絡・相談やつながりを便利にする新しい交流アプリを導入する試みもあり、新時代の教育環境への可能性も感じます。

「やってみなくちゃわからん」の精神です。多くの子供たちや保護者・地域のため、という強い信念がある一方で、どうなるかはつきり分からず、良い成果を出せないかもしれない、という不安もあります。しかし、まずは試してみることでないでしょうか。六小では、「問い」をもち、やってみよう、と実際に行動しながら、試行錯誤する学びが増えました。そうした学びを保護者・地域の皆様も試行錯誤しながら支えてくださいました。

### そして「やればできる！」

「やればできる！」の合言葉で人気のお笑い芸人、ティモンディの高岸 宏之さんは、昔からの夢だったプロ野球に挑戦しています。大人も子供も関係なく、何歳になっても試行錯誤の連続だということを教えてくれているようです。「やってみなくちゃわからん！」を「やればできる！」にしているのだから素晴らしいです。

西郷隆盛の「雪耐梅花麗(雪に耐えて梅花麗し)」をという漢詩を座右の銘として調べている子がいました。努力を重ね、春にはきれいな梅の花を咲かせよう、そして、自分を成長させよう、という強い気持ちで伝わってきます。子供は元来、「自律した有能な学び手」です。オーセンティックな学びで「やればできる！」と実感できる令和5年になれば、「自律と探究」の深掘りになると思います。そんな思いから、令和4年の1字に「試」を選ばせていただきました。

### 通知表はクリスマスカード

今日、もらった通知表は、未来の「やればできる！」を予見するクリスマスカードではないでしょうか。成果と課題から、「やってみなくちゃわからん！」と奮起し、試行錯誤という自分との「戦」に勝てる冬休みとなることを心から祈っています。自由課題(任意)、eライブラリ、MottoSokka!などもあります。「やってみなくちゃわからん！」を繰り返し、「やればできる！」という最高のプレゼントが、いつかサンタさんから届くはずですよ。物やお金よりもずっと価値があるプレゼントです。皆様、よいお年をお迎えください。ありがとうございました。

※オーセンティック(authentic 英):「本物の」「真正正銘の」「信頼に足る」という意味。ギリシア語の authentēs が由来で、「自らの意思で実行する者」という意味から派生した。